

松江圏域(農業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
松江-1	多様なニーズに沿った産直農産物の生産・販売推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 産直販売額はインショップ、JAグリーン店舗で前年を上回る推移を示したが、1～3月の販売が伸び悩み、目標をわずかに下回った。今後JAインショップ方式の拡大やエコロジエ農産物生産販売農家の組織化による販売拡大が必要。 安全・安心な農産物生産に関してはGAPの自己診断や研修会により関係者の意識付けを行った。 エコロジエ農産物についてはスイートコーンの実証展示圃で成果を上げるとともに、出前授業により小学生や保護者等ファン層の拡大を図った。 新規品目としてしょうがの生産振興を図り(玉湯・宍道地域)H24年度現在32a。あわせて加工品開発を開始した。 ホテルへの産直品の供給を行っているが周年を通じた安定供給体制の確立が課題である。また新規顧客の開拓が必要であるがマッチングが難しい。 学校給食については、供給側と受け手側の条件がかみ合わない部分があり、調整が必要。 	産直販売高	670	633	百万円	94%	概ね達成
松江-2	まつえ特産品(松江の柿・くにびきキャベツ)産地強化プロジェクト	(西条柿)	新規栽培者数(西条柿)(累計)	0	0	人	—	—
		販売額は目標を上回った。	新規栽培者数(キャベツ)(累計)	1	0	人	0%	未達成
		<ul style="list-style-type: none"> 生産者の意向調査調査を実施。規模縮小を検討している生産者が見られることから、管内全域のさらなる実態把握と新規栽培者の確保対策が急務。 栽培技術研修会と樹上軟化対策研修を開催し、大庭・本庄地区で軟化対策を実施した。収量・品質は良好。 加工についても研修会・巡回指導により順調であった。 柿を使った新商品を開発した(西条柿ドレッシング)。 	西条柿販売金額(JA取扱額)	90	97	百万円	107%	達成
		<ul style="list-style-type: none"> 販路拡大については東日本と台湾での販促活動を行った。台湾については販売単価面で問題があり、再検討が必要である。 (キャベツ) キャベツのねこぶ病の発生実態調査と土壌診断を行い、圃場の実態把握に努めた。さらに葉たばこ産作農家への作付け推進や生産基盤の整備対策として暗渠排水対策事業の推進を実施する等の対策により生産面積が1ha増え37haとなった。 	キャベツ生産面積	37	37	ha	100%	達成
松江-3	地域資源(人、技、遺伝子資源、文化)をフル活用した「松江大根島牡丹」の生産基盤の再構築と高付加価値商品の販売拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 営農塾については準備検討作業を進めた結果、2月設立にこぎつけた。 新規栽培者は年度内0人であるが、次年度は営農塾の募集活動を効果的に実施することによって確保に努める。なお25年4月就農予定者1名(部門:キャベツ 認定就農者)が現在研修中である。 市場外の販路として、Aコープの他、学校給食会、カット野菜関連企業を確保。 	台湾の春節需要に応じた輸出苗数(抑制苗)	1,000	1,100	本	110%	達成
		<ul style="list-style-type: none"> 台湾への輸出量は目標を上回る実績となった。ロシアについては60%の達成率。 台湾では提携農場での技術指導、商談会を実施。2月の春節には展示即売会を実施。 ロシアではウラジオストクで9・10月に「松江ブランド展inロシア」等で展示即売会を開催。 台湾、ロシアでそれぞれ輸出要望のある品種・花色について把握。 台湾、ロシアともに要望品種の確保に努め、併せてデータベースを活かしたカタログを作成しPRを強化する必要がある。 台湾については輸送方法の検討や開花調整方法の指導を、ロシアについては市場調査結果に基づき新たな販路の開拓等により輸出量の拡大を図る。 生産体制の再構築に向けて、後継予定者(1名)の就農支援を実施し、1月からの研修開始。 	ロシアへの輸出苗数(普通苗及び促成苗)	2,500	1,500	本	60%	未達成

松江圏域(農業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
松江 -4	やすぎ地域 特産物の産 地活性化と 地産地消の 推進プロ ジェクト	<p>【いちご】</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭疽病対策の徹底により苗数の確保を実現。 炭疽病抵抗性品種「かおり野」の栽培推進気運が醸成できた。 加工品開発・販売戦略を明確化。 農福連携による一次加工品製造販売体制づくりの取り組みを実施中。 	いちごのJA取扱額	210	239	百万円	114%	達成
		<p>【花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術指導にあわせて共同育苗の苗質改善、選花場開設等を行い、出荷量のアップを図った。 市場ニーズに対応するため出荷前情報提供や販路拡大に取り組んだ。 選花場の利用については、生産性向上に繋がる利用方法の検討が必要。 	花きのJA取扱額	170	170	百万円	100%	達成
		<p>【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ制とアドバイザー制度の構築により、生産体制が整備された。同時に講座やセミナーを開催して、多数の生産者が参加して、知識と意識の向上を図った。 一方で、販売額が伸び悩み傾向にあり、顧客確保のための魅力ある店舗づくり、新規品目導入等の対応策を早急に検討する必要がある。 	産直JA取扱額	320	260	百万円	81%	概ね達成